

WHO IS TOSHI?

Toshi Ichiyanagi 1933-2022



photo: Koh Okabe

第1部 シンポジウム

【登壇者】柿沼敏江(音楽学者) 白石美雪(音楽学者) 長木誠司(音楽学者)

【モデレーター】沼野雄司(音楽学者 / 県民ホール・音楽堂芸術参与)

第2部 コンサート

一柳慧：ソナタ(1954)

ヴァイオリン：尾池亜美 ピアノ：飯野明日香

東京1969(1969)

エレクトロニクス：有馬純寿

ピアノ・メディア(1972)

ピアノ：飯野明日香

時の仔いII(1986)

笙箇：篠崎史子

忘れえぬ記憶の中に(2000)

フルート：丁仁愛

※当初の予定より曲目が一部変更になりました。

【出演】尾池亜美(ヴァイオリン) 篠崎史子(笙箇) 飯野明日香(ピアノ)
有馬純寿(エレクトロニクス) 丁仁愛(フルート)

常に先端を走り続けてきた前衛作曲家にして、古典から現代までを横断するピアニスト、日本におけるジョン・ケージの紹介者にして、さまざまな企画を手掛けるオーガナイザー。あるいは…。シンポジウム&コンサートでたどる「芸術家・一柳慧」の創作の軌跡。

一柳慧とは何者か。

～Toshi伝説2～

神奈川芸術文化財団
社会連携ポータル事業

2023年2月4日(土)17:30開演

開場は開演の45分前 上演予定時間：約2時間(休憩含む)

神奈川県民ホール 小ホール

みなとみらい線日本大通り駅徒歩8分(横浜市中区山下町3-1)

全席指定 一般2,000円 学生1,500円(24歳以下・枚数限定)

2023年1月7日(土)チケット発売

チケットかながわ 0570-015-415 (10:00~18:00) <https://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

窓口：神奈川県民ホール／KAAT神奈川芸術劇場(10:00~18:00)／神奈川県立音楽堂(13:00~17:00/月曜休)

※就学前のお子様はご入場いただけません。※やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合がございます。※開演後は入場を制限させていただきます。開演時間に遅れた場合は、案内係の指示に従ってください。※神奈川県民ホールでは新型コロナウイルス感染拡大予防対策を徹底しイベントを実施します。ご来場前に、ホールHPの「ご来場のお客様へのご案内」をご確認ください。

主催：神奈川県民ホール 共催：日本アルバン・ベルク協会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)独立行政法人日本芸術文化振興会

お問い合わせ：神奈川県民ホール 045-662-5901(代表)

神奈川県民ホール
Kanagawa Kenmin Hall

文化庁

神奈川文化プログラム
MAC
マツカ

一柳慧とは何者か。～Toshi伝説2～

常に先端を走り続けてきた前衛作曲家にして、古典から現代までを横断するピアニスト、日本におけるジョン・ケージの紹介者にして、さまざまな企画を手掛けるオーガナイザー。あるいは…。2022年10月に逝去した一柳慧。その創作活動を俯瞰するアートプロジェクト「Toshi伝説*」の第2弾を、一柳の90歳の誕生日に開催。シンポジウム＆コンサートで、「芸術家・一柳慧」の創作の軌跡をたどる。

*Toshi伝説: 一柳慧の神奈川芸術文化財団芸術総監督就任20周年を記念して2021年に神奈川県民ホールと県立音楽堂で開催したアートプロジェクト。



一柳慧（作曲家・ピアニスト）

1933年、神戸生まれ。52年に19歳で渡米、ジョン・ケージとの知己を得、偶然性や図形楽譜による音楽活動を展開。61年に帰国、自作品並びに欧米の新しい作品の演奏と紹介で様々な分野に強い刺激を与えるとともに、国内外で精力的に作品発表と演奏活動を行った。尾高賞を5回、サントリー音楽賞、ジョン・ケージ賞、恩賜賞及び日本芸術院賞ほか受賞多数。2008年より文化功労者。18年文化勲章受章。00年より神奈川芸術文化財団芸術総監督。22年10月7日、逝去。

第1部 シンポジウム

【登壇者】 柿沼敏江（音楽学者 / 京都市立芸術大学名誉教授）

白石美雪（音楽学者 / 武蔵野美術大学教授）

長木誠司（音楽学者 / 東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻教授）

【モデレーター】 沼野雄司（音楽学者 / 桐朋学園大学教授 / 県民ホール・音楽堂 芸術参与）

第2部 コンサート



尾池亜美 (ヴァイオリン)

東京藝術大学を安宅賞、同声会賞、アカンサス音楽賞を受賞し卒業。ローザンヌ高等音楽院修士課程修了。英国王立北音楽院、グラーツ芸術大学にて研鑽を積む。東京藝術大学講師。Ensemble FOVE、紀尾井ホール室内管弦楽団、アミティ・カルテット、Zephyrus ピアノ五重奏団メンバー。明治安田クオリティオブライフ文化財団、ロームミュージックファンデーション奨学生。

www.amioike.art

くご

篠崎史子(笙箠) *笙箠…「日本の古代のハープ」と言われる奈良時代の楽器。

桐朋学園大学を首席で卒業後、アメリカに留学。1970年イスラエル国際ハープ・コンクール3位入賞。1973年小澤征爾指揮のベルリン・フィル定期演奏会に出演した他、ヨーロッパの各フェスティヴァルに出演。1974年文化庁在外研修員として西ベルリン、パリに留学。「日本の古代ハープ」と言われる、奈良時代の楽器「笙箠（くご）」の演奏家でもある。平成25年紫綬褒章を受章。イスラエル国際ハープ・コンクール、ジュネーヴ国際コンクールなどの審査委員を務めるほか、音楽大学において後進の指導にあたっている。東京音楽大学客員教授、桐朋学園大学音楽学部特命教授。



飯野明日香 (ピアノ)

東京藝術大学附属高校、同大学、パリ国立高等音楽院ピアノ科、フォルテピアノ科卒。ベルギー政府給費留学生としてブリュッセル王立音楽院ピアノ科マスターコース修了。2010年第28回中島健蔵音楽賞、2014年度レコード・アカデミー賞(現代曲部門)受賞。洗足学園音楽大学、桐朋学園大学、東京藝術大学及び同附属高校講師。ピティナ汐留イタリア街ステーション代表。秋田市観光クチコミ大使。



有馬純寿(エレクトロニクス)

エレクトロニクスやコンピュータを用いた音響表現を中心に、現代音楽、即興演奏などジャンルを横断する活動を展開。これまでに数多くの演奏会で音響技術や演奏を手がけ高い評価を得ている。第63回芸術選奨文部科学大臣新人賞芸術振興部門受賞。2012年より現代音楽アンサンブル「東京現音計画」を開始、第1回公演が第13回佐治敬三賞を受賞。現在、帝塚山学院大学リベラルアーツ学科准教授、東京音楽大学大学院特任教授、京都市立芸術大学非常勤講師。



丁仁愛(フルート)

東京生まれ。東京藝術大学器楽科卒業。都内を中心に室内楽や管弦楽団への賛助出演、新曲初演、レコーディングを行う傍ら、作曲、編曲、詩作、描画等の創作や自主公演を行なう。現代奏造Tokyo団員。

<https://inaejeong.amebaownd.com/>

<https://www.youtube.com/@FlutistINAЕ>